



夢風

YUMEKAZE

第108号(平成30年度 No.6)



みなさん、夢風ようこそ。

今号は、オーストラリアの姉妹校から豊田東高校を訪問したパスコベル女子校との交流を中心にお伝えします。半年ぶりの「卒業生の今」もご覧ください。

「夢風」はWeb ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース

News



● オーストラリア姉妹校交流

9月8日(土)から16日(日)の9日間の日程で、オーストラリアのパスコベル女子校から14名の生徒と3名の先生をお迎えしました。

多くの生徒が事前にホストシスターの生徒と連絡を取り合っており、「ようやく会うことが出来た」という喜びとともに対面しました。学校生活スタートの月曜日は、スクールツアーと歓迎昼食会が行われ、シスターの授業にも参加しました。火曜日に行われた歓迎式典では、パスコベル校の皆さんは吹奏楽部の演奏にとっても感動した様子で大変喜んでいました。本校の特色ある授業である発展英語、パラスポーツ(左下写真)、子ども文化(右下写真)、そして美術や音楽の授業にも参加しました。調理実習では、お弁当を作りました。イスラム教の生徒からは、豚肉そのものを食さないだけでなく、豚肉を使った調理器具で他の食材に触れると、それも食べられないものになるのだということを生徒は学びました。今年



1年生の英語表現Iのいくつかのクラスで、パスコベル校の先生の授業を受けるという貴重な体験をしました。その授業では、パスコベル校生徒との会話のやりとりを通して、東高生徒達は“multicultural country”がどのようなものなのかを直接肌で感じ学ぶことができました。授業後は、IFC部や書道部の部活動に参加しました。また、課外活動としてホストシスターとトヨタ会館の見学や豊田市民芸館での藍染め体験に出向き、産業と文化の両方から日本の歴史を学びました。15日(土)にはホストファミリーも参加して、京都観光として二条城、嵐山、太秦映画村を訪れました。二条城では鶯張りの廊下の音に興味深く耳を傾けていました。映画村では時代劇の装いを身につけた人を見つけては一緒に写真を撮るなどして楽しんでいました。

パスコベル女子校との交流は今年で26年目となりました。来年度は豊田東高校がパスコベル女子校を訪問する予定です。



● Recasting Weeks HYBRID BUNKASAI

本校の旧校舎を利用したアートイベントが9月15・16・22・23日の4日間開催され、美術部生徒が作品展示とアートパフォーマンスを行いました。旧校舎のクラブ室を展示会場として、全8室を思い思いのレイアウトで作品を彩っていました。初日は雨天の影響もあり、緩やかな出だしでしたが、天候の回復とともに客足も増え大盛況となりました。さまざまな方から直接お褒めの言葉や感想をいただき、非常に貴重な経験となりました。



● 古川 千穂

(3回生・調理・栄養プラン、中部製菓専門学校卒、ホテルトヨタキャッスル勤務、美里中出身)

私は栄養士を目指して東高校に入学しました。そして、栄養士としての進路だけを考えていた3年生の春、先生の勧めで同級生2人とチームを組んで「スイーツ甲子園」に挑戦しました。この経験によって、私の夢は大きく変わったのです。大会に向けてお菓子作りと向き合う中で、失敗した悔しさを知り、もっと高い技術を身につけたい！という好奇心や向上心を抱き、パティシエールを目指して専門学校進学を決意しました。



専門学生時代、コンテストに出品したウェディングケーキ

専門学校進学後、製菓の知識や技術を極めていく中でシュガークラフトという砂糖細工に興味を持ち、洋菓子コンテストにも挑戦しました。そこから自分が得意とする細工技術を生かし、レストランやカフェでのデザート、ウェディングケーキ、誕生日ケーキなど総合的な製菓技術を必要とする現場に立ちたいと思い、ホテルパティシエールとして就職しました。

就職して5年経ちましたが、まだまだ未熟者で夢の実現の途中です。私の夢はお菓子を通してたくさんの人に幸せを届けることです。そして製菓の素晴らしさをたくさんの人に伝えたいです。進学も就職も、簡単に決断できたことは一度もありません。しかし、最終的には、挑戦した経験を元に多くのことを決断しました。興味があることもないことも、成功も失敗も経験に無駄なものはないのです。必ず自分のためになります。そして、経験のきっかけや過程には先生、友人、家族など多くの支えや繋がりがあと思っています。感謝と思いやりの気持ちを大切にそれぞれの夢の実現に向かって踏み出してください。



職場では、今年のハロウィンのケーキを担当